広報うだ 2026 11
第251号
令和8年11月1日 発行

編集・発行 宇陀市市長公室 秘書広報情報課
〒633-0292 宇陀市榛原下井足17-3
Tel.0745-82-8000 Fax.0745-82-3900

今月のPick Up

長寿のお祝い



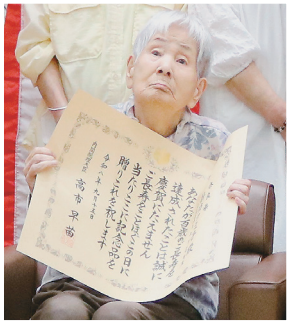




老人の日･高齢者保健福祉月間に入った９月24日(木)、今年度100歳を迎えられた方々を祝うため、市内の施設を市長が訪問し、お祝いの言葉とともに表彰を行い、記念品をお贈りしました。
また、今年度米寿を迎えられた方々には、記念品をお贈りしました。
今年度、市内で17人の方々が100歳を、250人の方々が米寿を迎えられます。








飛鳥・藤原の宮都と宇陀

今年、我が国の古代律令国家の幕開けを象徴する「飛鳥・藤原の宮都」が、ユネスコの世界文化遺産へと正式に登録され、県内の歴史が再認識される年を迎えました。

この登録に関して、宇陀市に住む私たちが忘れてはならないのが、榛原八滝にある「国史跡文祢麻呂墓」の存在です。

文祢麻呂は、「壬申の乱」（672年）において、大海人皇子（後の天武天皇）を支え、大友皇子と戦い、勝利します。即位した天武天皇より、この功績を認められた文祢麻呂は、新たな都である藤原京の警護を担う「左衛士府督（さえじふのかみ）」という長官の重責を担い、藤原京の中央集権国家の形成に尽力しました。

天保２（1831）年の江戸時代、耕作中に文祢麻呂の墓が発見されました。出土品の、銅製の箱の中に墓誌を刻んだ銅板が納められ、「壬申年将軍左衛士府督正四位上文祢麻／呂忌寸慶雲四年歳次丁未九月廿一日卒」と刻まれていたことにより文祢麻呂の墓だと分かりました。出土品は国宝に、墳墓は国の史跡に指定されています。



出土品が国宝に指定

当時では稀な火葬が行われ、火葬骨を納める骨蔵器は緑瑠璃壺（ガラス）、外容器は金銅製の壺でありました。これらの出土品は、榛原八滝にある龍泉寺で保管後、帝室博物館（東京国立博物館）に渡り、数少ない重要な遺物として、昭和27年に国宝に指定されました。

墳墓が国史跡に指定

昭和57年に発掘調査が行われ、、古代の上級役員の埋葬方法が分かった貴重な遺構として、昭和59年に国史跡に指定されました。

自治会が栄光の記憶を受け継いでいる

「文祢麻呂顕彰会」を八滝自治会の中に組織し、毎年、秋分の日には、「文祢麻呂将軍祭」として、周辺の草刈や法要が脈々と受け継がれています。

宇陀市HP
宇陀市役所 奈良県宇陀市
奈良県宇陀市 @ucb_upy
udacity_official
UD FONT